

令和元年11月12日
(2019年)

家庭数

保護者の皆さまへ

千里みらい夢学園
吹田市立千里たけみ小学校
校長 角田 睦

平成31年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査の分析について

2学期もあとわずかとなり、朝夕の気温が下がり体調を崩しやすい季節となりましたが、保護者の皆様には、平素より本校教育にご理解とご協力いただきありがとうございます。

本年度、6年生を対象として「平成31年度全国学力・学習状況調査」を実施し、既に個人の結果をお返ししたところです。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

本調査は小学校の最終学年を対象とした調査であり、教科も国語と算数、（理科※1）に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面です。このことを前提として、本調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に向けて具体的な取組を進めることが、本調査のねらいであると考えております。

対象となった6年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取組を進めるとともに、学校全体として学力向上につながる指導法の工夫改善を図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

（※1 理科については隔年で実施）

1. 国語に関する調査の分析

- (1) 全体の結果 全国の正答率を上回り、良好な結果でした。
- (2) 各領域における結果

話すこと・聞くこと

- ・全ての設問において、全国の正答率を上回る結果でした。

書くこと

- ・全ての設問において、全国の正答率を上回る結果でした。

読むこと

- ・全ての設問において、全国の正答率を上回る結果でした。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・全ての設問において、全国の正答率を上回る結果でした。

(3) 国語科における成果と今後の改善点について

学年全体の正答数分布は、全国の分布状況と比べて、低位層が少なく、高位層が多い結果となっており、大変良好な結果となっています。また、無解答率が全国値と比較して低いことから、各設問に対して一生懸命考えようとする姿勢が見受けられます。

話すこと・聞くこと

「話すこと・聞くこと」は良好な結果となっています。話の意図を捉えて聞き、自分の理解を確認するための質問をすることができます。全国同様、必要な情報を得るために目的に応じて質問を工夫することに課題があります。インタビュー活動などの際、目的を明確にし、誰に何を聞くのかを十分に考えさせ、自分の理解を深めることができるよう様々な質問の仕方を学ばせていく必要があると考えます。

書くこと

「書くこと」についても良好な結果となっていますが、全国同様、情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉えること、目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに課題があります。目的や意図と自分の考えとがずれないように、書き進める中で見直ししながら進めていく必要があります。また、多くの情報や自分の考えを整理していく学習や様々な条件に合わせて書く学習の機会を増やしていきたいと思えます。「書くこと」について学校として組織的に取り組んでおり、千たけプリントでは、思考力・表現力の向上を意図した問題を多く出題しています。引き続き改善に向けて、千たけプリント等でサポートをしていきます。

読むこと

「読むこと」についても良好な結果となっています。自分の考えを明確にしながらかみ、本や文章全体を概観して効果的に読むことができている。また、どの学年においても読書活動に進んで取り組むことができている。絵本や小説、図鑑、辞典など様々な本に触れることができるよう引き続き、環境整備や指導を進めていきます。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

同じく、良好な結果となっていますが、同音異義語に注意して漢字を文の中で正しく使うことに課題があります。また文と文との意味のつながりを考えながら接続語を使って内容を分けて書くことに課題があります。書く活動の中でこれらの課題を踏まえた指導に努めていきます。

2. 算数に関する調査の分析

(1) 全体の結果 全国の正答率を上回り、良好な結果でした。

(2) 各領域における結果

数と計算

- ・すべての設問において全国の正答率を上回る結果でした。

量と測定

- ・すべての設問において全国の正答率を上回る結果でした。

図形

- ・すべての設問において全国の正答率を上回る結果でした。
- ・特に台形の性質については全員正答しています。

数量関係

- ・全国値を上回り、良好な結果でしたが、一つの設問で全国値よりもわずかに低い結果となっています。

(3) 算数科における成果と今後の改善点について

学年全体の正答数分布は、全国の分布状況と比べて、低位層が少なく、高位層が多い結果となっています。千里みらい夢学園で取り組んでいる「学びのスタイル」に基づく、個人で考え、グループや全体で交流し、まとめて振り返るという授業の定着が思考力の向上につながっていると考えられます。また、基礎的な問題については千たけタイム（朝学習）、応用的な問題については千たけプリントといった学校全体での組織的・継続的な取組の定着により、低学年からの積み上げの効果が出ています。

また、国語科と同様に無解答率が全国値と比較して低い点も大きな特徴として挙げられます。

数と計算

「数と計算」については良好な結果となっています。示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述することに課題が見られました。計算をする時、計算が確実にできるとともに、数を多面的に見て計算に関して成り立つ性質を活用することで、計算を能率的にするために工夫できることが大切です。

量と測定

「量と測定」についても良好な結果となっています。二つの棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取り、それらを関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、判断の理由を記述することに課題があります。

日常生活において目的に応じて必要な資料を収集し、グラフから資料の特徴や傾向を読み取ることができるようにするとともに、複数の資料の特徴や傾向を関連付け、一つの資料からは判断することができない事柄についても判断することができるようにすることが大切です。

図形

「図形」についても良好な結果となっています。図形の性質や構成要素に着目し、他の図形を構成することに課題が見られました。

図形の性質や構成要素に着目して考察し、基本的な平面図形について理解できるようにすることや、色板などの具体物を操作しながら図形を構成したり分解したりして、図形についての見方や感覚を豊かにすることが大切です。

数量関係

「数量関係」についても良好な結果となっています。

「 $1800 \div 6$ は何m分の代金を求めている式といえるかを選ぶ」設問では、全国同様正答率が低くなっています。具体物や図、数直線などを活用する学習を増やし、それぞれの式が何を表しているのかを振り返ることが、式の意味についての理解を深めていくことに繋がると考えます。

3. 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

(1) 学習環境・生活環境等について

- ・「物事を最後までやり遂げてうれしかったことがありますか」での肯定的回答は全国値に比べ上回っています。様々な教育活動や学校行事に対して、前向きに取り組んでいる成果と言えます。
- ・「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の設問では、肯定的に答えた児童は約96%となり、全国値を大きく上回っています。少人数指導や各専科、よりみち教室など多くの教師が一人ひとりの児童に関わる機会が多い結果であると考えます。

- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の設問では、肯定的回答が全国値を上回っています。引き続き「学びのスタイル」を基に今後もコミュニケーション力の向上を図っていきます。
- 起床時刻や就寝時刻について「毎日同じ時刻である」と答える児童の割合は全国値を下回っています。規則正しい生活を心がけていきましょう。
- 「家の人と学校での出来事について話をしますか」での肯定的回答は全国値に比べ下回っています。一日の時間の中で、家族で話す時間をできるだけつくるように心がけ、豊かな言葉遣いと温かい心情を育てていきましょう。
- 「将来の夢や目標を持っていますか」での肯定的回答は全国値を下回っています。
夢や目標を持つことは、自立に向かうための第一歩となります。日々の学習の中で、好奇心を持って調べたり、自分から行動したりする経験を重ね、自己肯定感を高めていくことが大切です。
- 「今住んでいる地域の行事に参加していますか」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」での肯定的回答は全国値に比べ下回っています。社会のために何をすべきか考えたり、地域行事やボランティア活動に積極的に参加したりする機会を増やしていく必要があります。

(2) 教科・学習について

- 「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の設問に対して「当てはまる」の回答は全国値を上回っていますが、「当てはまらない」と回答した児童も全国値を上回っています。二極化の傾向が見られます。引き続き、苦手な児童でも自分の考えを表現できる学習の場や機会を増やしていきたいと思えます。
- 国語、算数ともに正答率や理解度も全国値に比べ高い結果となっていますが、一方で取り組む姿勢や思考・表現、工夫などについては肯定的回答が全国値を下回っています。日々の授業では積極的に取り組む児童が多く、前向きな意欲を感じますが、自信がない、自己肯定感が低い、苦手意識が高い児童の割合も高い傾向にあると言えます。
- 「読書は好きですか」「新聞を読んでいますか」での肯定的回答が全国値を上回っています。休み時間や授業での読書活動に積極的に取り組んでいます。さらによりよい読書環境を整えるとともに、ジャンルを広げ様々な本に触れる機会を作っていきたいと思えます。

4. 今後の取組

「学力」の面では、ほとんどの設問において全国値を上回る値を示しており、日頃の学習に対する意欲や取組の積み重ねが成果に表れていると考えます。一方、取り組む姿勢や思考・表現、工夫などについての自己評価が低く、苦手意識がある児童も少なくない傾向にあります。

教科に関する結果を踏まえ、各教科での基礎基本の更なる定着を図るとともに、学ぶ意欲や前向きに取り組む姿勢が成果として表れていることを、振り返りや評価の中で確認しながら進めていき、できる・わかる楽しさに繋げていきたいと思えます。

今後もコミュニケーション力の育成を図るために少人数授業やＴＴでの学習形態や発表の工夫をしながら、考えを伝え合い学び合う授業の構築をさらに進めていき、学園として「学びのスタイル」に基づいた授業を引き続き推進していきます。

さらに、様々な学習や体験活動、交流活動の中で、地域や社会にも目を向けさせながら児童の自立と豊かな心の育成を図ります。今後も全教職員で気持ちを一つにして、保護者・地域の方々とは協力しながら、教育実践に努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。